

演習事例概要

氏名等	<p>鈴木<sup>すずき</sup>笛子<sup>ふえこ</sup>（仮名）さん、21歳女性、知的障害を伴う自閉症</p>
支援の概要（利用開始時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援学校高等部を卒業して生活介護事業所「はっぴい」に通所。</li> <li>・ 進路選択の時から漠然と働く意向をもつが、作業に集中することが難しく、ストレスを抱えて不安定になることもあったため、家族の意向も踏まえ生活介護を利用。</li> </ul> <div style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>月曜日～金曜日 8:30～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 作業活動として、主に花壇整備や倉庫の片づけ（ほか紙すき、手芸等）</li> <li>* レク活動として、ウォーキングやフライングディスク、音楽、絵画等</li> <li>* 事業所への通所（行き帰り）については、母親が自家用車で送迎</li> </ul> </div> <p>【利用開始にあたり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい環境での生活の始まりにあたり、本人及び家族の期待や不安を受け止めつつ、まずは学校生活とは違う時間の過ごし方に慣れていけるよう目標を設定。</li> </ul> <p>○作業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やりがいを感じて作業に取り組めるように、本人の得意なことを活かしつつ、事業所内のいろいろな作業活動に挑戦する。</li> </ul> <p>○レク活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい場所でも仲間づくりができるように、本人の好きな運動（体を動かす活動）の機会が多く持てるようにする。（大会やイベント参加を含む）</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定が分からないことで不安を抱かないように、スケジュールを分かりやすく示すとともに、連絡ノートを使って家族とも情報を共有する。</li> </ul> <p>【生活介護事業所「はっぴい」以外での支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日は、月に2～3回の範囲で移動支援を利用。（公共交通機関を活用した外出支援）社会参加の機会が広められるよう、本人の意向を踏まえつつ実施。</li> <li>・ 小6からダンスクラブに通っており、母親の送迎が難しい時は移動支援を活用。ダンスクラブには顔なじみの仲間がいて、本人も楽しみに通い続ける。</li> </ul>
生育歴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難産で生まれ、歩き始めは1歳前であったが、言葉の出始めが遅かった。</li> <li>・ 1歳6ヶ月健診では特に指摘を受けなかったが、声かけにも行動を起こせず、強く言うとかんしゃくを起こすことがあり、両親はかねてから本人の成長発達について心配を抱えていた。</li> <li>・ 3歳児健診の時、担当保健師からの助言により受診したところ、自閉症と診断を受ける。</li> <li>・ 幼児期は並行通園（幼稚園に通いながら児童通所施設を利用）。</li> <li>・ 小学校は、両親の想いもあり地元の小学校へ入学（支援級）。こだわりや場面変化の苦手さに伴い、全校で行う行事ではパニックを起こす事が多くあった。</li> </ul>

<p>生 育 歴 等（つづ き）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長とともに体力がつき、体調によりいらだつと母親に飛びついたり、噛みついたりすることもあり、家族を悩ますこととなった。</li> <li>・ 母親の知人のすすめでダンスクラブに見学に行ったところ本人が興味を示し、それ以来週末のダンスクラブには楽しみに通っている。</li> <li>・ 中学校は、学校や主治医等の助言もあり特別支援学校へ入学。そのまま高等部に進学するが、学校行事や通学時にパニックになることもしばしばみられた。</li> <li>・ 福祉サービスの利用は中学2年生から。放課後等デイサービスを2か所利用し、主に体を動かす活動を通じて親しい友人もでき、楽しく通うことができた。</li> <li>・ 高校時代からは移動支援を利用。家族と過ごす時間だけでなく、社会経験の幅を広めるとともに、いろいろな場面を経験することで日常を落ち着いて過ごせるよう、今も予定を立てながら週末の外出を楽しんでいる。</li> <li>・ 卒業後の進路選択にあたり、本人から「お仕事を頑張りたい」との意向が示され、就労継続支援B型事業所と作業活動のある生活介護事業所の2か所で実習を実施。</li> <li>・ 就労継続支援B型事業所の実習では、一日を通して作業に参加することが難しく、感情が不安定になってしまうことも多くあり、実習評価をもとに学校と家族で相談を重ね、生活介護事業所への進路を決めた。</li> </ul>
<p>障害等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知的障害を伴う自閉症。（療育手帳A、障害支援区分4）</li> <li>・ 基礎疾患はなく、大きな病気もしたことはない。</li> <li>・ 身の回りのことは自分でできるが、準備や声掛け等の支援が必要。自宅では主に母親が家事をまかない本人の行動を促しており、経験値は乏しい。</li> <li>・ 簡単な言葉での会話は可能。初対面など慣れない関係ではコミュニケーションがとりづら いが、慣れた環境や関係であれば関わることを好む。</li> <li>・ ひらがな、カタカナは簡単な内容（単語等短いもの）であれば理解可能。</li> <li>・ 指示に対して拒む傾向はなく、理解に応じて素直に応じる。</li> <li>・ 普段は温厚な性格だが、不安やストレスを抱えるとイライラして感情が不安定になる。</li> <li>・ スケジュールの急な変更が苦手で、見通しが立たなくなると対処できずに不安定になったり、行動停止などが見られる。</li> <li>・ ストレスが重なると生活が不規則になり、日中眠気を抱えることもある。</li> <li>・ 生理前になると特に感情が不安定になりやすく、自分の体を描いたり、噛みついたり、他者に手を出してしまうことがある。</li> <li>・ 月1回精神科に受診。安定剤を定期的に服用している。</li> </ul>
<p>家 族 の 状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父、母、兄、祖母との5人暮らし（持ち家）</li> <li>・ 兄は県内の企業に就職（自宅から通勤）</li> <li>・ 家族全員が本人の特性を理解して助け合い、良好な関係を築いている</li> </ul>
<p>経済面</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害基礎年金2級を受給</li> <li>・ 祖母以外は仕事に就き、経済的な課題はなし</li> </ul>

<p>支援の 概要(そ の後)</p>	<p>【利用半年後の状況】（基礎研修モニタリング演習より）</p> <p>○作業面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち運びなどの体を使った作業（花壇整備）は好んで取り組めたが、簡単で作業量も少なく物足りない様子。それ以外の作業は興味がなく、集中して取り組めなかった。</li> <li>・本人の作業意欲とはうらはらに作業能力には課題もあり、一連の作業を手順どおりこなすことが難しく、思いつけば他の手伝いなどに気をとられてしまうことも見られた。</li> </ul> <p>○レク活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調による感情の起伏で、他利用者に手が出てしまうこともあるが、表情から不安定な様子が推測でき、前もって落ち着きを得るような介入ができるようになった。</li> <li>・感情の起伏以外にも、他利用者と行動のペースがあわないことが多く、親しい仲間がなかなかできず、あらためて「友だちがほしい」、母親の送迎ではなく他利用者のように「バスで通いたい」との言葉も聞かれた。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールが定着し、自分で予定を確認しながら活動に取り組むことができ、やりたいことを自分で選びたいという気持ちも芽生え始めた。</li> <li>・家族からは、生活リズムには慣れたようだが、本人から事業所の話をするようなことがなく、他利用者との関係を心配する声も聞かれた。</li> </ul> <p>【その後の支援】（基礎研修モデル修正計画より）</p> <p>○作業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の得意な作業は把握したが、事業所内の作業メニューが限られていることもあり、             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 現状の作業において、他利用者と同じペースで取り組めるようにすること</li> <li>② 体を使う動きのある作業に重点を置きながらも、他の作業にも取り組むことを継続して、やりがいを感じて作業に取り組めるよう支援することとなる。</li> </ol> </li> </ul> <p>○レク活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人なりのペースや感情の起伏により、他利用者との親しい関係が持てないでいるため、             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他利用者と活動参加のペースが揃うようスケジュールを調整すること</li> <li>② 体調を見越して他利用者との関わりに配慮すること</li> </ol>             を継続して、仲間との楽しい時間（関わり）が持てるよう支援することとなる。           </li> </ul> <p>○予定確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールの確認が、本人の安心とともに主体的な生活にもつながっているため、             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 予定の提示とともに、連絡ノートによる家族との情報共有をすること</li> <li>② スケジュール確認において、本人の意向を踏まえた選択の機会を設けることを継続して、本人の意向が日々の生活に反映できるよう支援することとなる。</li> </ol> </li> </ul> <p>※上記の支援を継続しながら、半年ごとのモニタリングとともに個別支援計画を修正。 直近の個別支援計画は別紙のとおり。</p>
-----------------------------	---